

研修名	令和5年度新潟県受託事業 訪問看護従事者研修会（スキルアップ編）				
領域	訪問看護	会場	新潟県看護研修センター	資料代	会員 1,540 円 非会員 3,080 円
対象	<p>対象者；訪問看護に従事している看護職等 在宅ケアに関連する事業所等に勤務する医療・介護・福祉関係職</p> <p>第1回；募集 20 名 応募 48 名 出席 48 名（会員 33 名 非会員 15 名 オンライン 37 名） 第2回；募集 20 名 応募 32 名 出席 31 名（会員 24 名 非会員 7 名 オンライン 31 名） 第3回；募集 60 名 応募 45 名 出席 44 名（会員 28 名 非会員 16 名 オンライン 21 名） 第4回；募集 60 名 応募 52 名 出席 50 名（会員 36 名 非会員 14 名 オンライン 20 名） 合計；延べ 173 名 日時 令和5年5月27日 9:45～16:15 9月9日・11月18日・12月9日；9:45～15:45</p>				
日時	令和5年5月27日 9:45～16:15 9月9日・11月18日・12月9日；9:45～15:45				
ねらい （目標）	質の高い訪問看護サービスの提供に向けて、実践につながる知識・技術を学ぶ				
講師	<p>1.医療的ケア児への支援； 桑原 拓 新潟県医療的ケア児支援センター 相談員 大嶋さよ子 新潟県医療的ケア児支援センター 看護師 田中 美央 新潟大学小児看護 准教授 春日 翼 新潟県福祉保健部こども家庭課保育支援係 エコーを活用した訪問看護； 中澤 友紀 ぷらすてっぷ定期巡回随時対応型訪問介護看護 エリアマネージャー</p> <p>2.在宅における摂食嚥下障害のある利用者の看護； 金子 諒 独立行政法人国立病院機構新潟病院 摂食嚥下障害看護認定看護師</p> <p>3.在宅における糖尿病をもつ利用者の看護； 丸山 順子 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病看護認定看護師 日本糖尿病療養指導士 岩野 明 長岡中央訪問看護ステーション 管理者</p> <p>4.在宅における慢性腎不全をもつ利用者の看護； 石崎 香織 社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 慢性疾患看護専門看護師 小西 健一 社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院附属有明診療所 透析看護認定看護師</p>				
内容・方法	1日合計5時間ないしは5.5時間の講義、グループワーク、演習				
結果・評価 （受講者の 意見感想 含む）	<p>○評価方法；アンケート（平均回収率 66.3%） ○受講者理解度；</p> <p>第1回（午前）；理解できた 34.5% 大体理解できた 65.5% （午後）；理解できた 51.7% 大体理解できた 48.3% 第2回 ；理解できた 42.3% 大体理解できた 42.3% 第3回 ；理解できた 60.0% 大体理解できた 36.0% どちらともいえない 4% 第4回（午前）；理解できた 71.9% 大体理解できた 28.1% （午後）；理解できた 65.6% 大体理解できた 34.4%</p>				

<p>企画の評価</p>	<p>○目的・目標の妥当性 「理解できた」「大体理解できた」、「達成できた」「大体達成できた」が全科目で多数を占めており、妥当であった。</p> <p>○講師・内容の妥当性 実践的な講義が多く、好評であった。今後の希望も看護技術や実践に繋がる研修の要望が多い傾向であった。その他、精神科訪問看護、看護師によるリハビリ、呼吸器管理の希望も多かった。</p> <p>○プログラム・時期の妥当性など 第1回の午前が講師4名による講義であり学びが多かったが時間不足であったため、プログラムの検討が必要。全体を通して、開催曜日や時期についての意見はなかった。</p> <p>○事前準備・当日の運営など ZOOMの音声や会場内の講師の音声が聞き取りにくいなどのトラブルの指摘があった。</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの設問に研修会の時期や意見欄が設けなかったため、講義の質問の項目への意見記載がみられた。設問について検討する。 ・実技や実践的な講義の希望もあり、今後、可能な限り参集とした方がよいのか検討する。 ・ZOOMトラブルの防止策、対応策が必要である。
<p>担当者</p>	<p>訪問看護推進委員会</p>